

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 社会福祉課 シート No.： 14 作成日： 2025.5/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む	近年増加傾向にある自殺に対する取り組みが喫緊の課題となっており「常総市自殺対策計画（いのちを支える常総プラン）」に基づく施策を講じています。	・ 様々な悩みや生活上の困難を抱える人に対しての早期の「気づき」が問題の複雑化・重症化を防ぎます。そのため、抱えている悩みに耳を傾け、必要な機関につなぎ、見守ることができるゲートキーパーの養成をはじめとした人材育成を行います。 ・ 危機に陥った場合には誰かに相談することや援助を求めることが適切であるということを市民一人ひとりの共通認識となるよう、理解・啓発活動を推進します。 ・ 自殺対策は、個人においても社会においても「生きることへの促進要因」を増やす取り組みを行うことが必要とされているため、「こころの健康相談」等の相談事業を推進していきます。
	施策	1 保健		
	施策内容	保健事業の推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	いのちを支える常総プラン		
事務事業名	自殺対策事業			

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
ゲートキーパー養成研修会（職員対象） （R 6・7・8）	職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を開催します。	研修会開催数（回）	1	1	－ 千円	－ 千円
			1	1		
ゲートキーパー養成研修会（市民対象） （R 6・7・8）	障害者週間に実施するチャレンジドフェスにおいて、市民を対象としたゲートキーパー養成研修会を開催します。	研修会開催数（回）	1	1	50 千円	50 千円
			1	1		
自殺対策パンフレットの更新・配布 （R 6）	令和6年度に自殺対策パンフレットを更新し、全戸配布します。	配布世帯（世帯）	17,017	—	345 千円	280 千円
			17,017	—		
いのちを支えるネットワーク委員会の開催 （R 6・7・8）	自殺対策に係る課題についての情報共有及び、効果的な施策の推進に係る意見交換を行います。	委員会開催数（回）	2	2	61 千円	43 千円
			1	2		
こころの健康相談 （R 6・7・8）	精神科医療や福祉サービス等、適切な支援に繋がるよう、精神科医による個別相談会を市役所において毎月実施します。	相談者数（人）	22	24	237 千円	220 千円
			21	26		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
自殺死亡率 （自殺者数 / 人口 × 100,000）	10.85% （R10）	14.77%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
障がい者に関する地域住民の理解を深めることを目的に12月の障害者週間に合わせ、チャレンジド・フェスを開催しました。そのイベントの一環としてゲートキーパー養成研修会を開催し、50名のゲートキーパーを養成することができました。しかし、周知不足が課題となっているため、今後は、電子@連絡帳JOSOシステム等を活用し、更なる参加者の増加に努めます。 また、自殺対策の啓発パンフレットを3年ぶりに更新し、全戸配布することで、ゲートキーパーや各種相談窓口について、市民に広く周知することができました。	☐ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	第2期いのちを支える常総プラン（自殺対策計画）に基づき、自殺対策を推進していきます。 今後も継続的に、市民や職員を対象に、ゲートキーパー養成研修会を実施することで、人材の育成、理解・啓発に努め、自殺死亡率の低下を図ります。 また、精神科医によるこころの健康相談や、市役所における相談事業を継続的に行うことで、悩みを抱える方々が、自分らしく生きることができるよう支援していきます。			